

■ 川崎市自治基本条例について

地方分権が進み、それぞれの自治体が、自分たちの地域のことを自分たちで決定し、自律した自治運営を行うことが求められている中で、川崎市がどのようにまちづくりを進めていくか、その自治運営に関する基本を示したのが「川崎市自治基本条例」（平成17年4月1日に施行）です。

この条例は、公募市民30人と学識者からなる検討委員会において議論を重ね、タウンミーティングなどで多くの市民の方から意見をいただきながら作成しました。

この条例に基づき、区民会議、パブリックコメント手続、住民投票制度などの市民自治を推進するための制度を創設しました。

問12 『川崎市自治基本条例』を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------------|---|---------|
| 1 内容までよく知っている | → | 問13、14へ |
| 2 どのようなものか、ある程度知っている | | |
| 3 名称は知っている | → | 問15へ |
| 4 知らない | | |

→「問12で「1 内容まで知っている」または「2 どのようなものか、ある程度知っている」「3 名称は知っている」と答えた方にうかがいます。」

問13 『川崎市自治基本条例』をどのように知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 市政だより | 4 イベント等 |
| 2 市のホームページ | 5 知人から聞いた |
| 3 パンフレット | 6 その他(具体的に：) |

→「問12で「1 内容まで知っている」「2 どのようなものか、ある程度知っている」「3 名称は知っている」と答えた方にうかがいます。」

問14 『川崎市自治基本条例』が施行されたことで、本市の自治運営にどのような影響があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 市政への市民参加制度が確立される |
| 2 市民と行政との間で情報共有が図られる |
| 3 行政の役割と責任が明確になる |
| 4 市民の役割と責任が明確になる |
| 5 市民と市の協働によるまちづくりが推進される |
| 6 市民の自治意識や地域のコミュニティ意識が高まる |
| 7 その他(具体的に：) |

《すべての方にうかがいます。》

問 15 自治基本条例には、自治運営の基本原則として、次の3つの原則が規定されていますが、どのように感じますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	よく進められている	ある程度進められている	あまり進められていない	まったく進められていない	よくわからない
1 「情報共有の原則」とは 市政に関する情報を共有すること。	1	2	3	4	5
2 「参加の原則」とは 市民の参加の下で市政が行われること。	1	2	3	4	5
3 「協働の原則」とは 市民と市がそれぞれの役割と責任のもとで、お互いを尊重し、対等な関係に立って、協力し合っていくこと。	1	2	3	4	5

問 16 行政が作る計画などに対して、会議に出席したり、意見を提出したりするなどして市政に参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1 参加してみたい	→	問 17 へ
2 機会があれば参加してみたい		
3 できれば参加したくない	→	問 18 へ
4 参加したくない		

→《問 16 で「1 参加したい」「2 機会があれば参加したい」と答えた方にうかがいます。》

問 17 どのような参加手法が有効と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 行政が開催するタウンミーティング、説明会への参加
2 審議会、実行委員会等の委員としての参加
3 重要施策に対する意見提出（パブリックコメント手続*）
4 市長への手紙やサンキューコールによる意見提出（電話、FAX、メール）
5 アンケート調査による参加
6 無作為抽出で選ばれた市民による話し合いへの参加
7 その他（具体的に： _____） |
|--|

※パブリックコメント手続：市民の生活にとって重要な政策等を定める際に、市民の意見を募り、提出された意見を十分考慮して政策等を定める制度

《問 16 で「3 できれば参加したくない」「4 参加したくない」と答えた方にうかがいます。》

問 18 参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 関心はあるが時間がないから
- 2 行政のどのようなことに参加できるか仕組みがよくわからないから
- 3 役割や責任等をおしつけられそうでわずらわしいから
- 4 意見を言っても聞き入れてもらえないから
- 5 関心がないから
- 6 その他(具体的に：)

《すべての方にうかがいます。》

問 19 川崎市における「自治」のあり方をどう考えますか。(○は1つだけ)

- 1 地域における課題は市民が解決する
- 2 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う
- 3 地域でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う
- 4 地域の課題解決は、すべて行政が行う
- 5 その他(具体的に：)

問 20 「自治」を進めるためには、市民としてどのようなことが大切だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 市民が市と協力して、まちづくりを進める
- 2 市民が主体的にまちづくりに取り組む
- 3 住民相互の連携・尊重に努めること
- 4 地域のコミュニティを育むこと
- 5 その他(具体的に：)

問 21 「自治」を進めるためには、行政にどのような役割を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 町内会、自治会、市民活動団体などの活動を支援する
- 2 自治に関する講座などの開催による自治への参加のきっかけづくりや人材育成
- 3 市政に関する情報をわかりやすく提供する
- 4 市政に市民の意見を反映させるための機会を作る
- 5 地域の課題を解決するため市民と協力して事業を行う
- 6 地域の特性を生かしたまちづくりが行えるように地方分権を推進する
- 7 その他(具体的に：)